

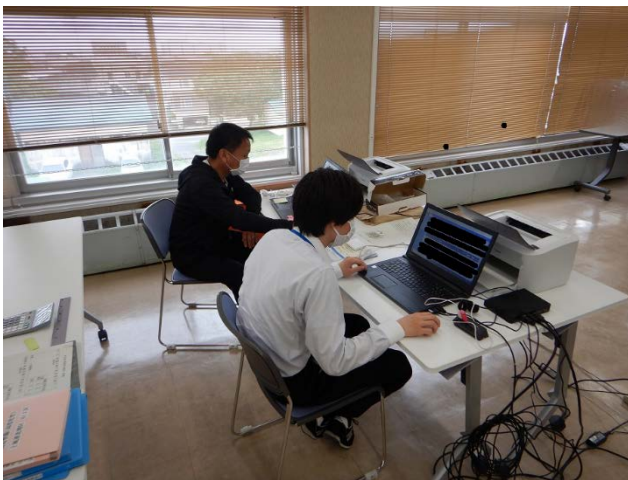
契約事務研修を開催しました

令和4年6月22日（水）、公共工事発注に係る電子入札の執行見学及び契約事務についての理解を深めることを目的とした研修を開催しました。

当課の職員8名が参加し、電子入札システムによる入札の開札から確認作業及び落札決定から落札者への落札決定通知発行までの過程を見学し、電子入札による入札執行の利便性や、その留意点等について説明を受けました。



電子入札画面を見つめる研修生



電子入札執行状況

【電子入札執行】

電子入札の執行状況では、案件ごとに細心の注意を払い、予定価格の入力や入札状況登録を何度も確認しながら入力しており、入力画面を印刷して入札執行者へ回付し、1つ1つ入念にチェックして入札を取り進めています。入札会場の全員が緊張感を持って作業しており、何重にも確認作業をして、適正な入札の執行を行っている状況を間近で見学しました。研修参加者もこの状況を感じとり、緊張感を共有するなど極めて繊細な作業であることを認識することができました。

【契約事務について】

入札終了後、契約方法の種類、競争入札参加資格や入札公告から落札方式などについて座学研修を行い、契約事務全体の流れを学んでいただきました。

【研修を終えて】

研修参加者からは、「理解が深まった」「緊張感があった」「自分が積算した工区が落札される場面に立ち会えて感動した」など入札契約事務への理解が深まった研修となりました。



契約事務の説明